

令和3年9月28日

各学部長
全学研究推進機構長 殿

大分大学遺伝子組換え実験安全委員会委員長
伊波英克

令和3年度遺伝子組換え実験安全教育訓練講習会の開催について（通知）

このことについて「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」及び国立大学法人大分大学遺伝子組換え実験安全管理規程に基づき、令和3年度遺伝子組換え実験安全教育訓練講習会を下記のとおり開催いたしますので、貴下所属の教職員に周知願います。

記

1. 受講対象者：遺伝子組換え実験責任者・実験従事者
※次の方については、必ず受講しなければなりません。
 - ・未受講者で今後遺伝子組換え実験を行う者
 - ・平成28年度受講者で現在も遺伝子組換え実験を行っている者
 2. WEB講習会(学内専用)
講師：遺伝子組換え実験安全委員会 濱田 文彦・伊波 英克
 3. 受講方法 大分大学全学研究推進機構 HP→委員会→遺伝子組換え実験安全委員会
HP (URL) <http://www.med.oita-u.ac.jp/rpp/committee/transgenics.html>
動画・追加資料を受講後,出席票の問題5問を解き,必要事項を記入のうえ,出席票を学内便で提出してください。
 4. 受講期間 令和3年9月28日(火)～令和3年11月30日(火)
 5. 提出場所 研究推進課研究協力第二係 挾間キャンパス
 6. 提出期限 令和3年12月17日(金)
- ※ 過去5年度間に、この講習会を受講していない方は、遺伝子組換え実験に従事することはできません。

(参考) 国立大学法人大分大学遺伝子組換え実験安全管理規程より抜粋
(最新規程 令和3年3月1日)

(実験責任者)

第7条 実験の計画及び実施に当たっては、実験計画ごとに実験従事者から実験責任者を定めなければならない。

2 実験責任者は、5年度ごとに安全教育訓練講習会を受講しなければならない。

(実験従事者)

第8条 実験従事者は、実験の計画及び実施に当たり、安全確保について十分に自覚し、必要な配慮をするとともに、あらかじめ実験に特有な操作方法及び関連する技術に精通し、習熟していなければならない。

2 実験従事者は、安全主任者及び実験責任者の指示に従うとともに、法令等及びこの規程を遵守し、安全確保に努めなければならない。

3 実験従事者は、5年度ごとに安全教育訓練講習会を受講しなければ実験に従事することができない。

4 学部の学生が実験に従事する場合、安全教育訓練講習会を受講しなければならない。ただし、在学中一度の受講でよいものとする。

《本件問い合わせ先》
研究推進課 研究協力第二係
早咲
内線：6740
旦野原からは(10-6740)
e-mail: liaisonhsy@oita-u.ac.jp